会報
ちから
静岡市相撲連盟
会長　川上明廣
平成26年12月
329号

静商相撲部OBちから会
昭和30年ちから会創立
昭和39年　11月　初刊
会長　細倉涼太
事務局　大江弘文

☆　会報「ちから」50年間継続発行
おめでとうございます。

50年と云えば半世紀、なんと素晴らしいことでしょう。事務局はじめ関係の皆さまのご努力に頭が下がります。

静商OB関係にはこれまでも多くの会報類が発行されていたでしょう。しかし、50年間も続くこともなく消えてしまうのが当たりまえで、他にまねの出来ない立派な偉業を成し遂げられましたことに敬意を表します。これほど長期間発行されるには、OB，会員の皆様方の深い友情と協力の精神、そして鋼の様な強い絆が「ちから」になってこそで、まさに「継続は力なり」の言葉を実証して云えるでしょう。私の所属したクラブでは、活動も続くことなく立ち消えただけに羨ましい限りです。

関西にも静岡県出身者の集まりの「県人会」が大阪、神戸、京都にあります。その内、「大阪静岡県人会」は昨年創立100周年を迎えました。この会の活動の中心としての「県人会だより」（B4版）を29年間に亘り唯一人で取材、編集、発行を担当、しかも全号を手書きで280号まで発行した、静商OBの新井皓之氏（56回卒）が、昨年、関西支部会合で会報「ちから」を拝見して、「まだ上があるのか・・」とつぶやいたことが印象的でした。

申し訳ないことですが、小生は静商在学中（昭和30年56回卒）相撲部の存在を殆ど知りませんでした。それが4年前、現在は立命館大相撲部所属の山中未久さんが静商在学中に、大阪府堺市の大浜相撲場で開催された、女子の全国大会に出場する情報を下村同窓会副会長様からいただき、関西支部では後輩の活躍を応援しようと呼びかけ女性も含め、10名程が駆け付け、SCの旗を振って声援したのが、ご縁の始まりでした。

その山中さんは今や関西では話題の人です。ある方によれば「Kテレビは山中さんを追っかけているよ」と言われるほどマスコミに登場しています。これまでも皆さんに情報提供しましたが、今後も可能限りご紹介していきたいと思っています。

最後に、先ずは400号を目指して、ご健闘をお祈りいたしますと共に、貴OB会の益々のご発展、ご活躍をお祈り申し上げます。

平成26年10月吉日　　静商同窓会関西支部
富坂誠二

静商溪声俳句会

去年の秋兄の傘寿の酒を呑み　岩崎　安次
托鉢のくぐもる声や歳の暮　高橋　璋
終バスの酔客溢るる歳の暮　加賀美　幸
傘ぬらすほどには降らず時雨かな　原川　芳朗
本堂の寂れた寺や落葉散る　佐藤　康紀
走り根に落葉嵩なす地蔵堂　永田　峰雄
落葉して埋れし石に躓ける　牧田　秀峰

☆　静岡市相撲連盟会長　川上明廣

ちから会会報50年おめでとうございます

神田会長亡きあとは、順番として渡辺さん・吉永さん・岩崎さんの後に私と思っていましたが、市体協より新会長は70才未満の者との内示があり、結果私しが会長に就任しました。

神田さんの教えどおり、現場に手厚くをモットーに又、底辺拡大を目標にがんばっています。

本年の子供相撲教室の参加者は17名、参加者は静岡由比・清水、来年は小島町・西久保・袖師町・下川原などに働きかけて行く予定です。

相撲連盟は、ちから会の協力無しでは年間行事が出来ません。若いOBも40才になり、仕事も大変かと思いますが、ご協力是非、お願いします。

ここ、一、二年で連盟の役員をお願いするかと思いますが、その時は、気持ち良く引き受けてください。宜しくお願いします。

静商相撲部OBの皆様、今後共ご協力の程、心よりお願い申し上げます。

・・・